

志教育の視点	☑かかわる ・ ☑もとめる ・ ☑はたす
--------	----------------------

活動名	【起業家教育】デュアルシステム
教科・領域等	商業科, 総合実践
活動学年等	3学年(商業科)
ねらい	販売実習・起業家研究・企業実習の3本柱から構成されており、生徒の職業観や勤労観、人間関係形成能力、情報活用能力、将来設計能力、意思決定能力の育成を図り、地域の産業界と連携をすることで将来地域の担い手となる有能な人材の育成をする。 また、地域との連携を深めコミュニケーションを図ることで地域の活性化の一助とする。

【実践内容】

志教育の視点

地域社会に貢献できる人材になるために、地域の産業界と連携しながら諸課題の解決に主体的に取り組み、改善しようとする姿勢を身につける。

活動内容

1 総合実践の取組内容。

販売実習 一迫町内施設「あやめの里」の店頭を借り受け、地元企業の指導の下で、店舗設計や仕入計画、販売計画、プロモーション、経理まで生徒が自ら行った。班ごとにテーマに沿った商品を仕入れ、販売することで自ら考え行動する能力と態度を養った。お客様の立場に立った「おもてなしの心」と社会人の立場に立った「地域社会に貢献する意識」を高めることができた。

起業家研究 「問題解決手法とその表現方法」を学習し、有限会社もちっ小屋でん・栗駒六日町通り商店街へ出向き、課題を見つけ、解決を図る学習を実施した。地域の課題を自分事として捉えることの大切さや、どのようなことに気づく必要があるのかなど地域の関わりを通して学ぶことができた。課題について考える難しさや達成感なども感じる事ができた。

企業実習 各事業所にて6月～11月の間で毎週金曜日の2時間、全13回の実習を行った。地域とつながりを持つことで、職業についての知識や技能を身に付けた。実習を経験し、望ましい職業観や勤労観を育成することができた。

2 活動記録をまとめる。

1年間の学習活動をまとめ、1月の学習成果報告会に向けてプレゼンテーションを作成した。報告会後は、自己を評価し、今後の進路へどう生かしていくかを考えた。

自分・未来をみつめ志に高める手立て

地域と学校が協働する教育活動を通して、地域の魅力を発信・再発見しようと促し、貴重な学びを得ることができている。生徒自身が学んできたことを地域で実践し、貢献できたという成功体験を積み重ねることによって、自己の進路実現を主体的に考えることができている。教科書よりも生きた教材を活用することで、将来の担い手となる地域の有為な人材の育成を図っている。

